



ピース・ウイング長崎 情報BOX

公益財団法人 長崎平和推進協会

〒852-8117

長崎市平野町7番8号

2012. 4 . 4

No. 140

☎ 095-844-9922

<http://www.peace-wing-n.or.jp>

平和を目指す活動を応援！

「秋月グラント」助成事業を公募します！

目 的

被爆体験の継承や平和意識の高揚を図るための活動などに対して財政的な支援を行う制度です。「秋月グラント」という名称は、協会創始者である故秋月辰一郎氏の名前を冠したものです。

対 象

基本的には下記の①から④のような平和啓発のための活動を新たに企画・実施しようとする個人や団体を対象とします。

- ① 被爆・戦争体験を後世に伝えるための活動企画
- ② 国の内外において、国際的な平和交流を目的とした活動企画
- ③ 調査研究・資料収集・教育などの幅広い平和啓発のための活動企画
- ④ その他、被爆体験の継承や平和意識高揚のための活動企画

助 成 額

事業費全体の4分の3以内の金額とし、20万円を限度額とします。助成金は、事業が終了し、活動報告書が提出されてから支給します。なお、助成の決定にあたっては審査があります。

申込期限

平成24年11月30日まで。なお、規程の予算額に達した場合は、期限前に締め切ります。

申込方法など詳しくは協会（上記連絡先）までお尋ねください。

～お知らせ～

人事異動に伴い、次のとおり4月に新しい追悼平和祈念館長が就任しました。



国立長崎原爆死没者
追悼平和祈念館長

ち た
智多 正信（前・長崎市副市長）

今後とも事務局職員一同 よろしくお願いたします。

第6回海外報告会を開催しました

当協会継承部会ピーストーク研修班が主催する「海外報告会」を3月21日（水）に長崎原爆資料館平和学習室で開催しました。今回は、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館がロシアで開催した原爆展の開会式に出席した深堀讓治さん、タイで活動を続ける計屋道夫さんと初めて同行した末永浩さんより、お話を伺いました。

副班長の山川剛さんより報告が寄せられましたので、ご紹介します。

昨年8月から10月まで、ロシア・サンクトペテルブルクで開催された「広島・長崎原爆展」にあわせて、深堀讓治さんが被爆体験を語った。会場ではサブタイトルを「脆弱な平和」としていたそうだ。深堀さんは4回、むごい体験を語ったが、質問は出なかった。戦争で破壊されたエカテリーナ宮殿の復旧が今も続いていること、原爆資料を常時展示する大学に感心したという。

また1月から2月にかけて、カンボジアのプノンペン、タイのチェンマイとランブーンで被爆体験講話や原爆展を行なった計屋道夫さん、末永浩さんも報告した。計屋さんは、09年のピースボート乗船をきっかけに、3年前から自費でタイのチェンマイを拠点に活動している。多くの人に伝えたいが、非核特使といっても通訳料すら自費というボランティア活動には問題があると、現状を訴えられた。また、タイの2都市市長より「平和市長会議」加盟申請書を預かり、田上長崎市長に手渡したことも報告された。

会場からは海外活動の在り方や後継者育成についてなど多くの意見が出され、閉会した。

市民対象碑めぐりを実施しました

3月24日（土）、継承部会慰霊碑めぐり班の主催で「市民対象碑めぐり」を実施しました。

今回は約60名が参加し、西坂小学校や中町教会、福濟禅寺、東本願寺長崎教務所を巡りました。魚雷や被爆瓦、軍服などが展示された福濟禅寺の慰霊殿や、一万体とも二万体ともいわれる無縁仏の遺骨を収集した東本願寺長崎教務所の収骨所を見学した他、継承部会員の丸田和男さんからは、遺体も見つからなかった息子を偲び、東本願寺で開催される原爆法要に長年通った同級生のお母さんのお話も紹介されました。



～主催・共催・後援事業などのお知らせ～

区分	事業名	日時	場所	主催
----	-----	----	----	----

4月は今のところ、主催・共催・後援事業の予定はありません。

被爆者健康講話
次回予告

24年度は6月開講予定です。くわしくは決定次第お知らせします。